

## 消えうる「詰襟・三つボタン制服」

創立以来、入学時の男子制服は、濃紺詰襟、3つ袖ボタンを守って参りました。その詰襟制服が令和7年以降、消滅することになりました。

改変直前までは、3学年までは詰襟、商船学科が高学年時大型練習船実習に赴くべく、制帽付きダブルとしたことから、工業学科もそれに習い、4学年時よりダブルとし、男女学生は1学年から卒業まで制服で登校しておりました。

一方、他の高専では、3学年まで制服を課し、4学年以降は私服といった制度です。1着の購入費用10万円近い2つの制服を買い求める保護者の負担もあったことより、本校も他高専のパターンに改変したものです。

改変後は、入学時から3学年までが男子ダブル・女子がブレザー。高学年ではセレモニーや就活時にはスーツでそれ以外は私服登校となっております。

こうしたことから、資料館にこの「消えうる詰襟制服」を展示いたすことにいたしました。

追：写真は、現商船学科4学年の学生からもらい受けた詰襟制服を、柳井「制服のニシオ」よりこれまたもらい受けましたマネキンに着させ、資料館に展示してる様子です。関係者の方々のご協力に感謝申し上げます。



令和4年11月 事務局